

平成28年度 学校応援団スタッフ研修実施状況

1. 学校応援団サポート講座「ねりまチャージ」

	日時	講座名	講師	会場	内容	参加者数	参加者の感想
1	6月6日 (月)	「学校応援団フォーラム」 ねりまの地域教育の未来を考 える	鉄矢 悦朗 東京学芸大学教授	練馬区職員研修所	学校応援団の学校・地域 における役割の重要性と、 地域での教育支援者とし ての活動のあり方を考え ます。 グループに分か れて学校応援団の未来に 向けて課題や可能性につ いて話し合いをします。 (ワールドカフェ方式)	13校 23名	ワールドカフェ方式、初めてでしたが、非常に 刺激的でした！4つのテーマでしたが、根っこは 全部つながっていたなと実感です。 地域それぞれの課題を知りながら、自分のこ れからのあり方を考えさせられる講座でした。答 えがない…ことを知りました。それを考えること をやっていきます。
2	6月27日 (月)	こどもとの接し方ーこどもの話 を「聴ける」人になるう こどもパートナー認証講座	藤枝 静暁 埼玉学園大学大学院教授	練馬区職員研修所	聴き上手は3つの得をしま す。聴き方のコツを身につ ければ、誰でも聴き上手に なれます。そのコツをソー シャルスキルという視点か らお伝えします。実際に体 験しながら、一緒に楽しく 学びましょう。	23校 43名	今日はジャンケン大会で楽しかったです。 自分の余裕の無さを感じました。時間、心にゆ とりを持つ様に気をつけたいと思います。 子供と気持ちを共有し、モラルや道徳的な観 点を入れられないようにする。 日常から小さな種をまいて…何年かかかる事 もあるんだなと思いました。
3	7月13日 (水)	教育支援者として大切なことは こどもパートナー認証講座	山田 修平 淑徳大学短期大学部講師	開進第二中学校 セミナーハウス	教育支援者として、大切に したい子どもの見守り方、 関わり方について学びま す。学校応援団としてだけ でなく、地域の大人として 子どもを育てていく事につ いて考えます。	21校 39名	先生が「私達は価値がある」よかった。ほめてあげ よう、と思う！！全て参考になった。 我が子と同じ様に対応しなければと思ってしまっ たが、ひろばは、子供を「みとめてあげる」だけでいい と、わかりました。少々気持ちが楽になり、楽しく子供 と接する事が出来ると感じました。 日々いろいろ悩みながら活動しているのですが、 「ナナメの関係の他者」という、今の子供には貴重な 存在として、普通に接するだけでもいい。という言葉 に、すーっと心が楽になりました。 優しく接する人、厳しく接する人、など、色々なタイ プの大人が居て良いと言って下さったことがありがた かったです。
4	9月16日 (金)	「いま」のこどもと環境の変化 に合う接し方 こどもパートナー認証講座	鈴木 聡 東京学芸大学准教授	練馬区役所 地下多目的会議室	現在の学校内の変化と子 どもを取り巻く環境の変化 を学びます。こども達の主 体性を伸ばす見守り方 について学び、今後の応援 団の活動について再確認 します。	22校 43名	子供の主体性を改めて考えさせられました。ワ クワクしながら学べる環境を作れると良いと思 いました。 逆上がりのお話は大変興味深かったです。既 成概念にとらわれずに子どもたちに接すること の大切さ、またそれによる子どもの世界の広がり を大事にしたいと思いました。

	日時	講座名	講師	会場	内容	参加者数	参加者の感想
5	9月28日 (水)	こどもを理解しよう ーこどもの自己肯定感 を高めるには こどもパートナー認証講座	大熊 雅士 NPO法人げんきプログラム 作成委員会副理事長 学舎「プレイブ」室長	練馬区役所 20階交流会場	子どものこころに寄り添う コミュニケーションの方法 を考え、人格形成に大切 な自己肯定感の重要性 と、その伸ばし方について 学びます。	23校 47名	ひろばのスタッフをしているといろいろなお子さん とかかわりを持ちます。協働する力、意図的に 感情の言語化を促すよう、さとれる人になりたい と思いました。スタッフ全員で安心できる居場所 作りをしたいです。 「子供一人一人の存在を認める、その子の今 を認める」という事を参考にこれからも子供の自 立をサポートしていきたいと思います。
6	10月4日 (火)	音楽を通して子どもと 楽しく接する方法 ～あそびのチャージ～	内田 真裕子 演奏家	大泉中学校 セミナーハウス	誰にでも出来る音遊びを 通じて子どもと仲良くなれ る方法を紹介しします。短い 時間でもイベントでも使 え、運営からアレンジまで 実際に体験しながら楽しく 学べます。	7校 13名	こんなに曲作りが楽しめるとは思っていなか ったので、子供達と今度は楽しみたいです。 リズムづくりや、ことば遊びで、子ども達と楽し く過ごせるヒントがたくさん頂けました。 自分自身の体や、身近なものを使って、リズム 遊びなどすぐに取り入れられそうでした。
7	10月25日 (火)	身体を使ってこどもとの 距離を縮めよう ～あそびのチャージ～	坂本 史生 NPO法人東京学芸大こ ども未来研究所執行理事	大泉中学校 セミナーハウス	身体を動かしながら、こ ころをほぐす遊びを体験しま す。無理無くこどもとの距 離を縮める遊びをたくさん 覚え実践で活かしましょ う。	3校 5名	子どもたちとできる簡単な遊びが分かり、とて も参考になりました。ありがとうございました。 課題解決型遊び、早速実践したいと思いま す。これから寒くなり、外に出るのイヤがる子ども もできますのでさそい出すきっかけに利用でき ると期待しています。 室内でのおにごっこについて、はしりまわらな くても出きるあそびがあるという事がわかってよ かった。
全7講座							延べ112校・213名 1回あたり参加者平均約30名

2. 応急救護研修

	日程	講座名	講師	会場	内容	参加者数	参加者の感想
1	7月12日 (火)	応急救護講習	練馬消防署	開進第二中学校 セミナーハウス	胸部圧迫法(AED講習)お よび三角巾法など応急救 護の基礎知識、技術につ いて学ぶ。	13校 26名	小児、乳児の胸部圧迫の実技が見られてとて も参考になった。 AEDの意味がわかった。手順がわかった。 初めての参加だったので分からない事を教え てもらい参考になった。